



弾いてみよう
歌ってみよう

コア通信

VOL.41

2018年
3月発行

花の便りが北上する季節になりました。コアからは音楽の便り、コア通信最新号のお届けです。

音楽と映像を皆様にお届けする
サウンドオフィス・コアのニュースレターです。

季節にあうおすすめの1曲

3月：「旅立ちの日に」

1991年に埼玉県秩父市立影森中学校の教員が、荒れていた学校を良くするため「歌声の響く学校」にする事を目指し、「卒業する生徒たちのために、何か記念になる、世界に1つしかないものを残したい」との思いから作られた曲。作詞者の小嶋登は2011年に80歳で急逝したが、同年「旅立ちの日に」誕生から20年の節目となることを踏まえ、作曲者の坂本浩美と共に、埼玉県より「彩の国特別功労賞」が贈呈された。

4月：「さくら(独唱)」(森山直太朗)

元々は友人の結婚をきっかけとして作られたもので、デビューミニアルバム『乾いた唄は魚の餌にちょうどいい』に、バンドアレンジとして収録されていた。ピアノ独唱バージョンとしてシングルカットしたものが2枚目のシングルとして発売され、ブレイクのきっかけとなった曲。

♪私の心に響く一曲♪

イエスタデイ・ワンス・モア♪カーペンターズ

カーペンターズが1973年に発表したシングル曲。カーペンターズは、楽器を兄のリチャードが受け持ち、ボーカルを妹カレンが担当する兄妹ポップスデュオで、ロック全盛の1970年代において欠かすことの出来ない音楽グループです。昔ラジオで聴いていたオールディーズを懐かしむという内容で、日本とイギリスではカーペンターズ最大のヒット曲となり、日本での公称セールスは100万枚以上を記録しました。名曲は時代を超え、内山田洋とクールファイブやキャンディーズ、八千草薫他、多くのアーティストにカバーをされています。カレン歌声は優しくもあり、切なくもあり、彼女の死から35年経った今でも色褪せず、現在でもブライダル・セレモでリクエストの多い一曲です。



(和訳) ♪全ての思い出が鮮明に蘇る

それは時に私を泣かせることもある

昔と全く同じように 昨日をもう一度・・・

2018 バレンタインアコースティックコンサート レポート

まだ雪も残る2/4(日)、恒例のバレンタインコンサートを開催しました。今年は会場も新たに、大塚駅に程近い「大塚 Greco」にて、ピアノを中心としたアコースティックライブです。ピアノの他にはボーカルや、マンドリンの演奏もあり、出演者はバレンタインに合わせた甘いナンバーや、こだわりの衣装など趣向を凝らして披露。

さらには【おとのストーリー】と題した初の試みも！物語の朗読に合わせて演奏される曲を、クイズ形式でお客様にご回答頂くという弊社ならではのプログラムもありました。「雪は降る」や「少年時代」等の耳馴染みのある曲から、冬のソナタのテーマ「最初から今まで」、水戸黄門のテーマ「ああ、人生に涙あり」等、中々正式なタイトルを当てるのが難しい曲を様々なジャンルから演奏され、大いに盛り上がりました。少し早いバレンタインを楽しめるアットホームな雰囲気でのコンサートでした。



♪ 編集後記 ♪

我が子の小学校の卒業式の事。子供用の黒のスーツ・白シャツ・赤いネクタイの予定が、手持ちの白シャツが小さくなっていたことに前日夜気が付き、シャツも黒になりました。卒業式当日は小学校のお母さんたちに「親分」と言われる息子、そのままの格好で帰りにお友達と公園で遊んでいたの、近所の人からも「お宅の親分、滑り台で遊んどったよ〜。」と。ずいぶん笑った思い出です。何でもそうですが、衣装、早めにチェックしなければと思いました(笑)

えび☆



急なご依頼にもまごころこめて対応いたします。
音楽・映像のことなら、迅速対応の

サウンドオフィス・コア



〒202-0012 東京都西東京市東町 3-13-21
クレストコート保谷 403
TEL:042-421-7150 FAX:042-422-0894
HP アドレス: <http://www.so-koa.jp>